

鳥取東高通信

題字：柴山 抱海氏

第182号
令和2年7月

編集・発行
鳥取東高等学校 PTA
鳥取県立鳥取東高等学校
印刷 日ノ丸印刷株式会社

未来への輝き



今できること



PTA会長 吉澤 春樹

新型コロナウイルスの影響で私たちの生活様式はもとより、子どもたちの学校生活も大きく様変わりして先の見えない不安の中で今年度のスタートとなりました。こんな時だからこそ今できる「3みつ」を実践してみたいかがでしょうか。

1. みつめ直す

順調に行かない学校生活で子どもたちの様子を丁寧に見守ったり、様々なPTA活動の意味や目的などを見直してみる。

2. みつどの濃い活動

時間や内容に制約が多い中、出来る事に感謝しながら前向きに活動に参加する。

3. みつける(発見する)

視点を変えてプラス思考で向き合う事により新しく発見する事があると思います。

主体的に工夫しながら行動して子どもたちをサポートし一緒に楽しい学校生活を送りましょう。



校長 中島 靖雄

「心を燃やせ！」

「そこは(合格が)難しいだろう。」と私は言った。
「でも、入りたいんです。」

その生徒は言った。夢を見つけてから努力をしていたのはわかっていて。しかし、合格ラインにはほど遠かったのだ。

三月になった。合格発表。案の定、受からなかった。その生徒は冷静だった。不合格を受け入れ、取り乱すこともなかった。そして、次の年も同じ学部を受験すると言いつつ。私は、「浪人して、伸びるタイプかどうか。」と考え、即座に自分に返事をした。「No! 次に相談に来たら別の学部を勧めよう。」頭の中でそう結論が出た。そして、「まあ、また相談に来なさい。」と言ったとき、その生徒は言った。
「今は実力が足りないのはわかっています。でもなりたいんです。」

柔和な笑顔の持ち主でありながら、心は鋼の塊でできていた。

結局、何度も何度も落ちた。受かるまでには何年もかかった。でもその間ずっと心を燃やし続けていたのだ。ずっと自身が指し示す矢印の先を見続けていたのだ。結局、高校を卒業してからその学部を卒業するまでには十年もかかった。でも、今振り返ればあつという間だったかも知れない。いつか私の体に異変が起こったら、真っ先に診てもらいたい医師の一人、それが立派に独り立ちした今の彼女だ。



文化広報部

部長 山本 賢璋

「はい」か「イエス」しかない中、部長の大役を仰せつかりました。

「東高通信」を楽しんでいただけるよう、18人の愉快的仲間たちと共に写真撮影・投稿・原稿依頼・情報収集など奔走かつ、臨機応変に対応しながら、年4回(7月号、12月号、3月号、4月号)発行します。

「広報部」の腕章をつけた部員が、至る所に駆け付けて取材を行いますので、その際には快く写真撮影に応じていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



研修部

部長 山根 正

P T A研修行事では「保護者のための進路セミナー」と題し、先生から現状やデータをもとに講演いただきます。2021年度入試から始まる「大学入学共通テスト」で求められる力の習得に向けて、情報収集をしてください。

「大学見学」では、去年は公立鳥取環境大学で学部紹介や入試情報、学生生活等の説明と施設の見学をしました。

高校生は自分の将来や夢の実現のための進路を模索する時期です。研修部は親子で将来の進路を考える一役を担います。

令和2年度

P T A 専門部紹介



健康・生活部

部長 福田 美由紀

思春期の身体に大切な「食」をテーマとして、健康面の向上や食べ物の知識、調理方法を学べる食育研修と、最大のパフォーマンスを発揮することに欠かせない体や心の作り方を学べる研修を予定していますが、今年はコロナの影響で研修会は開催が難しいのが現状です。

前部員4割、あとは新部員となります。部員一丸で楽しみながら学べる企画を考えて、子どもたちの心と身体の成長の手助けができることを発信していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



人権教育部

部長 谷口 雅美智

今年度、我が家の末っ子が、谷口家では初めて鳥取東高校に入学させていただきました。新たな校風、環境等すべてが初物尽くしで、右も左もよくわからないなか、P T A活動に参加させていただきました。

人権教育と聞けば、とても難しいものと思われる方も多いと思います。人権とは一人ひとりが人間として大切にされて生きていくためになくてはならないものを日々学んでいく。すなわち学校でも社会でも常に関わっていかなければならないものです。難しく考えることなく、人との出会いを大切に、話し合いを楽しむことが、人権教育を学ぶ入口だと思っています。

部員の協力のもと、鳥取東高らしい活動に取り組みたいと思っていますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年度 各種表彰者

感謝状贈呈

鈴木ますみ
研修部 副部長 (令和元年度)

三谷 浩子
健康・生活部 部長 (平成30・令和元年度)

荒川 昌代
人権教育部 副部長 (令和元年度)

県高P連会長表彰

福田千鶴子
副会長 (平成29・30・令和元年度)

大野 弥生
文化広報部 副部長 (平成29年度)
文化広報部 部長 (平成30・令和元年度)

令和2年度 鳥取東高等学校PTA常任評議員

役 職	氏 名	ク ラ ス
会 長 (百周年記念事業実行副委員長)	吉澤 春樹	1年5組
副会長 (百周年記念事業実行委員)	安岡 裕明	3年4組
副会長	田口 さつき	2年2組
副会長	清水 奈緒美	2年3組
副会長	伊藤 憲栄	1年6組
監 査	坂本 一美	3年5組
監 査	菖蒲 仁志	2年6組
監 査	小田原理一郎	1年6組
文化広報部 部長	山本 賢璋	2年4組
文化広報部 副部長	福井 悦生	3年1組
文化広報部 副部長	大村 匡由	2年5組
文化広報部 副部長	川崎 ゆかり	2年7組
研修部 部長	山根 正	3年2組
研修部 副部長	羽田 裕充	3年2組
研修部 副部長	田中 芙美果	2年5組
健康・生活部 部長	福田 美由紀	2年6組
健康・生活部 副部長	有田 真紀	2年1組
健康・生活部 副部長	山下 恵梨子	1年4組
人権教育部 部長	谷口 雅美智	1年5組
人権教育部 副部長	三橋 由希子	3年1組
人権教育部 副部長	中山 教道	2年6組
人権教育部 副部長	田村 美奈子	1年6組

至高のとき・その1

部活を通して



柔道部 部長 message

昨年度末の全国高校柔道選手権大会の中止をはじめ、柔道の練習を全国的に自粛するなど、柔道競技はコロナウイルスの影響を大きく受けました。その間、自分たちは気持ちを切らず、トレーニングなどを続けてきました。3年生にとってはモヤモヤする最後となりましたが、1・2年生にどんな形でチームを引き渡すか考えながら最後まで部活動をやり抜こうと思います。(3年7組 小林 晴)



柔道部 保護者 message

大切な恩師を失い、それでも一步ずつ前に進んでいた矢先、恩師との約束「インターハイでの勝利」も叶わなくなりました。ただ見守ることしかできないけれど、それぞれの思いを抱え今できる事に取り組む姿は本当にすごいと思います。必ずこれからの「力」になるので胸をはって前を向いて、残り少ない部活動を悔いなくやりきってください。ずっと応援しています。(保護者)

柔道



自転車

自転車競技場

(3年3組 今井 純志)





男子バドミントン部 部長 message

整った環境で部活動ができること、道具があることは、当たり前のことではありません。部員全員が様々な所で支えてくださる方々への感謝の気持ちを持ち、頑張ってきた部活動。成果を発揮する総体はなくなってしまいましたが、僕たちが仲間と共に努力してきた日々は一生の思い出であり、将来の力になると思います。(3年7組 八間 竜哉)



女子バドミントン部 部長 message



私達は団体戦ベスト4を目標に練習に励んできました。全員で気持ちを合わせるためのミーティング、上手い出来ない時の悔しさ、声が枯れるまで応援した事。これらの経験は何事にも代え難く、色あせません。指導してくださった先生方、先輩方、可愛い後輩、そして大切な仲間に出会えた事に感謝し、新たな目標に向かって前進していきたいです。(3年4組 吹野 葵)



男子バドミントン部 保護者 message

みんなで勝ちたい。と頑張ってきた部活動でしたが、コロナの影響で練習したくてもできない、総体も中止になってしまい本当に悔しい思いをしたと思います。でも素晴らしい仲間とともに頑張った日々はきっと良い思い出になるでしょう。指導してくださった先生方、支えてくださったみなさんありがとうございました。3年間お疲れさまでした。(バドミントン部男子母より)

女子バドミントン部 保護者 message

我が子が東高バドミントン部へ入部し早3年。高校生活のなかでしか得られない出会いや感動、様々な葛藤があった事でしょう。区切りとなる総体が中止となり3年生の気持ちを思うとやるせない気持ちでいっぱいでした。自分たちの活動の成果を記録としては残せませんでしたが、確かな記憶に残るこの経験を糧にして皆さんのこれからの人生が豊かになるよう心より願いながらこれからもエールを送り続けます。(保護者 吹野 百合子)

女子バレーボール部 部長 message



入部してから今まで、6人欠けることなく一緒に頑張ってくることができて本当に良かったです。目標としてきた中国大会への出場はできませんでしたが、皆で支え合い励まし合いながら切磋琢磨し、やってこれたことは一生の思い出です。1、2年生、そして3年生のみんな、ありがとう！(3年5組 森 明花)

女子バレーボール部 保護者 message

「東高でバレーをしたい！」期待に胸を膨らませて入部した6人。泣いたり笑ったり、時にはぶつかったり…。強い東高女子バレー部を目指し、最後まで6人で頑張ってきました。将来どんな道に進んでもこの頑張りや糧となるはず。これからも自分を信じて前に進んでください。応援しています。本当にみんな格好良かったです！たくさんの笑顔と感動をありがとう。(保護者 森 かおり)



男子バレーボール部 部長 message



男子バレー部は、基礎からきっちりと教えてくれる指導者がいるわけではなく、自分達で考えながら練習することがほとんどです。だから、多くのことを自分から考えることができ自分の成長につながったと思います。2年と少しの部活だったけど、得た経験は一生忘れずに生かしていけたらいいなと思います。(3年7組 高垣 新生)



男子バレーボール部 保護者 message

5月30日土曜、「行ってきます。」と言う息子を見送ったあと、これで最後かと涙が出た。中高と続けてきたバレーボールが生活の中心だったが、新型コロナウイルスの影響により、この日の練習試合で部活引退となる。その日は、どこまでも諦めずにボールを追いかけている。決まれば喜び、失点すれば支え合う姿が印象的だった。大会で勝つよりも大切なものが、ここにあると感じた。この先も一生懸命に今を生きてほしいです。(男子バレーボール部保護者より)





女子バスケットボール部 部長 message



私はこの3年間、部活一直線でがんばってきました。朝から練習、放課後練習、土日は遠征。すべてはインターハイ出場という目標達成のため。どんなにつらくともチームで乗り越えてきました。私達は、「走るバスケット」で何事も全力で走り抜ける部活です。そんなチームで3年間プレーできたことは、大きな誇りです。本当にありがとうございました。（3年2組 本城 朋）



女子バスケットボール部 保護者 message

部活終盤はコロナ禍に翻弄される日々でした。競技成績もひとつの成果指数ですが、何よりこれまでの頑張りに賛美の言葉を贈らずにはいられません。汗と涙と笑いが詰まった部活、歴史を紡いで来られた先輩、共に歩んだ後輩の協力にも感謝です。お疲れさまでした。あなた達が受け継ぎ支えてきた部活は、さらに未来へとつながり発展する事でしょう。（保護者 本城 卓）

男子バスケットボール部 部長 message



僕たちは、ベスト4を目標に切磋琢磨して頑張ってきました。県総体がなくなり、とても残念ですが、この3年間やってきたことは決して無駄ではなく、これから繋がる大きな糧になると思います。また、今日までご指導して下さった顧問の先生方、支えて下さった保護者の方々、本当にありがとうございました。（3年1組 中山 幹太）

男子バスケットボール部 保護者 message

試合で一生懸命戦う姿に、勝敗関係なくいつも感動をもらっていました。ありがとうございました。東高バスケット部の貴重な経験は、必ず自分を成長させてくれます。1、2年生の皆さん、これからも元気に力いっぱいバスケットを楽しんでください！最後に、先生方、部員、マネージャーの皆さん、いつも支えてくださりありがとうございました。（保護者 中山 雅代）

バスケットボール



弓道

弓道部 保護者 message

弓道部のジャージ袴を嬉しそうに手にしたあの日から、あっという間の3年間でした。仲間と共にうちこんでいた「正射必中」の精神は、弓道だけでなく社会生活の中にも通ずる真理だと思います。これからの人生、悩んだり迷ったりした時は「正射必中」を胸に、最良の目標が射抜けるよう頑張ってください。鳥取東高校弓道部、万歳！（保護者 今本 貴子）



弓道部 部長 message

僕たち弓道部は、みんな仲が良く、お互いに協力し合いながら日々の練習に取り組んできました。中国大会などの大きな大会に勝ち進むということを常に目標としながら頑張ってきた僕たちにとって、中国予選や県総体が軒並み中止となってしまったことは本当に残念でしたが、部活動を通して経験してきたことを糧に今後も頑張りたいと思います。（3年3組 今本 大弥）





男子サッカー部 部長 message

サッカー部は、インターハイ出場を目標に活動してきました。コロナウイルスの影響で大会は中止になり、目標は叶わなくなりましたが、最後の代替試合では東高サッカー部全員で全力で戦いました。このような大会が行われることは当たり前でなく、企画や運営をしていただいた方々には、僕たちが最後に全力を尽くせる場所を作っていただき本当に感謝しています。引退する部員も多いですが、これから進路実現に向けて努力していきます。(3年4組 冨林 健介)



女子サッカー部 部長 message



女子サッカー部は総体優勝を目標に、全力で部活動に取り組んできました。女子サッカー部での経験、学んだ事はこれからの人生の糧になり、様々な事を乗り越えてきた私達なら次の目標へも全力で頑張れるはず。素晴らしい仲間と過ごした日々は何にもかえがたい幸せな時間でした。女子サッカー部のキャプテンをできた事を誇りに思います。(3年4組 平尾 優佳)

男子サッカー部 保護者 message

最後の代替試合を見て、改めて仲間と全力を尽くすことの素晴らしさを実感しました。人生全てが思い通りにはいかない中で、与えられた環境でいかにベストを尽くそうとするかが一番大事です。そして、一生の宝になるのは、優勝することよりも、仲間と楽しんだり、切磋琢磨してきたことです。今まで指導していただいた先生方、この度の大会を運営していただいたスタッフの方々には大変感謝しています。(保護者)



女子サッカー部 保護者 message

思いもよらない状況で日常が戻らない中でも前を向き頑張ろうとしている姿は、素晴らしいことだと思います。今一番日常のありがたさを感じているのはみなさんではないでしょうか。部活で完全燃焼はできなかったかもしれませんが、サッカーとかけがのない仲間と出会えたことに感謝し、一人ひとりの未来に向けて羽ばたいてください。応援しています。(保護者 平尾 裕子)

サッカー



ビームライフル

ビームライフル部 部長 message



僕はこの3年間の部活動を仲間と共に高め合い、大会で良い成績を残すことを目標に頑張ってきました。今年で僕たち3年生は引退し受験へとシフトしていきますが、1、2年生にはこの部のもつ仲の良さを次の世代へと受け継いでほしいです。新型コロナウイルスの影響で流動的な3年目ですが国体県予選にフォーカスし、3年間で得た全てを出し切ります。(3年7組 大旗 玲至)

ビームライフル部 保護者 message

コロナウイルスの影響で3年間の努力の結晶が発揮する場がない状況の中、3年間の活動を通じて多くの事を学んだと思います。部活動を行うことで芽生えた責任感や後輩への技術伝承。これらは社会人になって経験する内容を部活動を通じて多くを学べたと思うしております。長い人生の中で多くの仲間を通じ感じ得た経験が、これからの人生で大きな糧になったと思います。この大切な仲間との活動できる時間をいただけた東高の方々に感謝いたします。(保護者 大旗 泰之)

